

## Ⅱ. 事業の概要

### 法人

(理事会機能の充実)

毎年、厳しく変化する私立学校を取り巻く環境に適切に対応し、様々な課題に対して主体的、機動的に対応していくため以下の課題を設定し、検討並びに実施することを計画しました。

- ① ガバナンスについて
- ② 実効性のある中長期計画の策定
- ③ 部門ごとの経営（運営）委員会の充実

#### 1) ガバナンスについて

本学園のガバナンスの在り方を探求するための一環として役員、評議員及び事務局員を対象に次の研修会を実施しました。

- 2009年7月10日（金）

学校経営に詳しい外部講師を招いての研修会を実施。

良好な経営を実施している学校法人紹介や競争的資金獲得の重要性についての解説。

- 2010年3月5日（金）

日本私立学校振興・共済事業団私学経営情報センターの佐藤 克則氏を招いて研修会を実施。群馬県及び北関東の進学状況や保有している全国私学のデータに基づいての解説。

#### 2) 実効性のある中期計画の策定

保育園から大学までの財務を中心とした5ヶ年（2010～2014年度）中期計画書を作成し、各部門での報告手続を経て9月開催の理事会及び評議員会において承認されました。学園総合グラウンド建設や大学4号館建設等の大規模事業は、この計画に基づいて進捗しており、成果を上げることができました。

#### 3) 部門ごとの経営（運営）委員会の充実

すでに設置されている「幼稚園企画運営会議」、「中学・高校財政問題改革委員会」のほか、「保育園企画運営会議」を立ち上げました。いずれの委員会も理事長が議長となり、それぞれの部門の役職者と本部事務局職員が委員となって諸課題に対応しています。園児・生徒の確保、財政の安定及び施設設備の充実に一定の成果を上げることができました。

(共愛学園100年史下巻の発刊)

懸案であった100年史下巻を5月に発刊することができました。頁数が上巻の倍近くとなったこともあって、(一)と(二)に分冊し1,500部印刷しました。キリスト教学校教育同盟校、公立の図書館等施設及び県内の学校へ頒布したほか、同窓生等の希望者へは有償頒布としました。

(学園総合グラウンドの用地取得)

学園総合グラウンド用地 33,625 m<sup>2</sup> (約 1 万坪) の取得に向け作業を開始しました。土地収用法の適用や農地転用による土地取得のため、群馬県と前橋市関係当局の行政指導は厳しく難しいものがありました。本学の事情を丁寧に根気をもって説明折衝した結果、各行政機関等の理解を得ることができ、その後は順調に進展しています。2010 年度の前半には取得できる見込みにあります。

なお、3月に地権者 10 名全員と土地売買契約を取り交わすことができました。

(木瀬保育園の経営移管と開園式)

前橋市より木瀬保育所が共愛学園に経営移管され、共愛学園第 5 の部門として保育園が誕生しました。その開園当初の概要は次のとおりです。

- ・名 称：共愛学園木瀬保育園
- ・位 置：前橋市小屋原町 1122 番の 2
- ・土 地 面 積：4,430 m<sup>2</sup>
- ・建 物 面 積：757.56 m<sup>2</sup> (鉄筋コンクリート 2 階建)
- ・総 定 員：120 名
- ・基本開所時間：午前 7 時～午後 6 時
- ・延 長 保 育：午後 6 時から 1 時間
- ・開園時職員数：22 名 (園長 1 名・主任 1 名・保育士 16 名・栄養士 1 名・調理師 2 名・用務員 1 名)

また、開園式を 2009 年 5 月 16 日 (土) 大学のチャペルにおいて挙行し、祝賀会を同学生ホールにおいて催しました。

## 大 学

(入学の状況)

特待生制度や奨学金の充実、広報活動、募集活動の積極的な展開などにより、定員以上の学生を確保することができました。

2009 年度 コース別入学概況 (入学定員 200 名、編入学定員 20 名)

	国際社会専攻				地域児童 教育専攻	計
	英 語	国 際	情報経営	人間文化		
応募者	194 (2)	69 (4)	111 (8)	83 (2)	54 (0)	511 (16)
合格者	142 (0)	51 (2)	87 (4)	54 (0)	44 (0)	378 (6)
入学者	100 (0)	33 (2)	73 (3)	36 (0)	24 (0)	266 (5)

( ) 内数値は編入学の内数

#### (専任教員人事)

2008年度末に教授1名(教育学)が退任し、2009年度より専任教員2名(文化人類学・英文学)を新規採用しました。これにより専任教員は1名増の34名になりました。

#### (専任職員人事)

学生募集の強化を図るため入試就職課の派遣職員配置を取り止め、専任職員を1名増員採用して同課に配置しました。

#### (4号館建設と委員会の立上げ)

4号館建設について検討するため、「4号館建設特別委員会」と「キャンパスデザイン委員会」を立ち上げたほか、全教職員によって構成されるスタッフ会議でも取り上げるなどして、建設に向け本格的な検討に入りました。

検討の結果、2009年度中にまとまった概要と方向性は次のとおりです。

- ・事業費：7億円(4号館建設、1・2号館改修工事、外構工事、設計監理料)
- ・コンセプト：進化、深化、共愛プロジェクト「学びの共愛」
- ・必要な施設設備：教室等の学びの空間、学生の自習場所・居場所、食堂・カフェ、相談室、事務局、地域との接点、礼拝堂
- ・日程概要：

プロポーザル方式による設計士の選定	10年4月～7月
設計期間	10年8月～11月
建設認可・建築業者選定	11年2月～3月
着工・工事	11年4月～12月
設備等搬入	12年1月～3月
供用開始	12年4月

このほか建設の参考とするため、2月～3月にかけて委員会メンバーが、手分けして東京方面の大学6校を視察しました。

#### (第二回認証評価申請の適合)

前年度の2009年1月に大学基準協会へ第2回目の申請を行い、2009年度に入って10月20日の実施調査を経て3月12日に適合していることの結果が発表されました。

本学では、はやくも2回の認証評価適合を受け、質の高い大学であることが第三者により証明されたこととなります。

#### (特待生を含む奨学金)

毎年、増え続ける特待生が、すでに限界数に達していることを踏まえ財政問題改革委員会(委員長 学長)において、本格的な検討に入りました。

方向性は、学生募集確保と微妙にリンクすることを勘案し、2011年度は最小限の変更に留め、2012年度からある程度の改定とすることが確認されました。

(借用地の一部取得)

前橋市からの借用地（グラウンド）一部 1,300 m<sup>2</sup>（394 坪）を 3,302 万円で取得しました。

これにより前橋市からの借用地は残り 8,649 m<sup>2</sup>（2,621 坪）となり、現在の鑑定価格で試算すると約 2 億 1,968 万円となります。

(施設・設備等の充実)

① 1 号館トイレの改修

学生アメニティ向上を図るため、1 階学生ホール脇の女子トイレと、礼拝堂東側脇の男子トイレの全面的な改修工事を行いました。

② キャリア支援システム

大学改革推進等補助金を受けてキャリア支援システムを導入しました。これにより学生の修学状況や卒業生の就職状況の把握が可能となり、これらのデータを学生個々の学士力形成や就職支援に活かすことが有効となりました。

③ 車輛ハイエースの取得

主に競技バトミントンクラブの競技会遠征用車輛として、トヨタのハイエースコンピューター中型（15 人乗り）を取得しました。

(進路の状況)

・2009 年度卒業生の進路状況は次のとおりです。

就職者	124 名
就職未定者	13
その他	65
進学者	6
計	208

就職率 90.5% (124/137)

・就職者の業種別進路と主な企業は次のとおりです。

業種	人数	業種	人数
サービス業	40 名	自営業	0 名
出版・印刷業	4	商社	7
官公庁	2	情報通信業	11
教職員	26	製造業	7
金融業	5	流通・小売業	22
建設業	0	計	124 名

## 高 校

(人事について)

2009年度は、校長1名及び準宣教師1名の退職により専任講師2名を採用、また教諭1名の非常勤講師への任用替えにより非常勤講師1名を専任講師へ任用替えしたほか、寮監1名の退職により後任寮監1名を採用しました。

また、非常勤講師3名が退職したことにより、新たに非常勤講師3名を採用しました。

・教 員

年度	専任教諭	専任講師	助教諭	左の計	非常勤講師
2007	46	12	1	59	22
2008	46	12	1	59	21
2009	44	15		59	23

・職 員

年度	専任職員	パート職員	派遣職員	計
2007	6	1	3	10
2008	5	1	4	10
2009	6		4	10

(入学の状況)

教職員が分担して県内中学校の訪問や、入試広報室を中心とした県内及び近県の進学塾訪問を行ったほか、新聞広告等の広報活動を行ったこともあり、2008年度に比べ全体の応募者が154名増え、入学者数も28名の増加となりました。

入学概況 (カッコ内は共愛中学出身者の内数)

	英語科		普通科	計
	特進コース	進学コース		
定 員	130 名		230 名	360 名
応募者	305 (15)	185 (18)	758 (39)	1,248 (72)
合格者	188 (15)	170 (18)	576 (39)	934 (72)
入学者	47 (15)	78 (18)	230 (39)	355 (72)

※ 2009年度より入学定員を英語科は90名から130名に、普通科は332名から230名に変更したため、全体で62名減員しました。

※ 普通科は文科・総合・理数の3コース

#### (特待生制度の充実)

すべての入試に特待生制度が適用されることを周知し、学業優秀者・スポーツ等優秀者の両面から意欲のある生徒を確保し、より活力のある学校づくりを行いました。

なお、特待生は定期的（学年末）に学業成績や部活動の様子など継続審査が行われ、資格を失う場合もあります。

内容は次のとおりです。

特待生 S — 入学時の入学金・施設費及び毎月の授業料・施設維持費を全額免除

特待生 A — 入学時の入学金と毎月の授業料を全額免除

特待生 B — 入学時の入学金と毎月の授業料を半額免除。

これにより、過去3年間の特待生の入学実績は下記のとおりとなりました。

	特待 S		特待 A		特待 B		計
	学 業	スポーツ等	学 業	スポーツ等	学 業	スポーツ等	
2007 年度	0	0	10	11	8	6	35
2008 年度	0	0	6	6	10	9	31
2009 年度	0	0	5	11	10	13	39

#### (進路の状況)

上級学校への進学志向は強く、卒業生のうち4年制大学進学者が59%、短大進学者10%、専門学校進学者21%となっており、2008年度と比較すると4年生大学進学者が微増、短大が4ポイント減り、専門学校が6ポイント増加しています。

区 分	人 数	区 分	人 数
大 学	194 名	留学予定	4 名
短 大	33	就 職	8
専門学校	71	浪人・その他	22
計		330 名	

#### (施設・設備の充実)

##### ① テニスコートの照明設備増設

男女とも優秀な成績を収めているテニス部が薄暮以降も練習できるよう、テニスコートの照明設備増設を行いました。

##### ② インターロッキングの補修

年次計画の3年目として、不陸の著しい中庭通路及びベルタワー北側通路のインターロッキングの補修工事を行いました。

(普通科の改編と入学試験)

地域社会や生徒・保護者のニーズに応えるほか、学校の生き残りを図るため、2010年度より普通科のコース改編(特進コース・進学コース)を行い、その改編に向けた入試制度に基づいた、入学試験を実施しました。

## 中 学

(入学の状況)

早期の校外入学説明会、小学校訪問や新聞広告等の広報活動を行いました。前年(入学者 94名)と比較して応募者はほぼ変わりませんでした。しかしながら、入学辞退者が若干増え前年度に比べ入学者は7名の減少となりました。

入学概況(入学定員 90名)

	第1回入試		第2回	第3回	計
	推薦	一般	一般	一般	
応募者	57	40	20	9	126
合格者	56	25	11	6	98
入学者	55	18	8	6	87

(人事について)

2009年度は、飽田中学教頭の高校への転出と、天川中学教頭就任人事がありましたが、職員数は変わりませんでした。

年度	専任教諭	専任講師	助教諭	左の計	非常勤講師
2007	9	4	1	14	6
2008	9	4	1	14	6
2009	9	4	1	14	6

(進路の状況)

卒業生数 102名中、共愛学園高校に内部進学した生徒は 87名、他校に進学した生徒は 15名でした。他校に進学した生徒の中には、他校を受験希望した者や共愛高校へ推薦する基準に達していない者もいました。

年 度	卒業生数	内部進学者数	外部進学者数						計
			県内公立	県内私立	県外公立	県外私立	海外留学	その他	
2007	73	65	4	3	1	0	0	0	8
2008	84	72	4	3	0	4	1	0	12
2009	102	87	1	8	0	5	0	1	15

## 幼稚園

### (園児募集)

園児募集を強化するためホームページを中心に広報を行いました。

移転して4回目の園児募集となりました。

入園児及び園児数は次のとおりです。

	入園児	在園児
3歳児	35名	35名
4歳児	3	14
5歳児	0	22
計	38	71

### (課外活動)

引き続き課外活動を実施しました。申込者等の概要は次のとおりです。

	英会話クラブ	絵画造形クラブ	サッカー教室	体操教室	児童英語クラブ
申込者数	25名	22名	37名	38名	13名
講師	本大学講師	本大学教員	本大学学生	本大学学生	本学教員・学生
開催日数	8日	5日	13日	14日	5日

※ 体操教室は2009年度より開始

### (財政の安定)

当面の財政安定化を図るため、職員との合意を得て次の施策を実施しました。

- ・ 2009年度～2010年度について、引き続き共愛学園賛助会へ支援を依頼しました。
- ・ 新給与表を適用するほか、一律に支給されていた研修手当を廃止しました。
- ・ 新たに常勤講師制度を設け適宜導入ことになりました。

### (施設・設備の充実)

#### ① 職員駐車場の整備

なたぎり薬師の東側へ確保した職員用駐車場用地について、地盤の簡易整備と周囲にフェンスを設置しました。

## 保育園

### (園児数)

開園初年度当初の園児数は次のとおりです。(定員120名)。

1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
13名	12名	30名	47名	26名	108名



#### (施設・設備の充実)

当年度に移管された園舎は築後 25 年を経過して、様々な箇所で大不具合が生じていることから、120 周年記念事業会計からの繰入れや共愛学園賛助会からの支援を受けて、次のとおりの施設・設備の充実を図りました。

##### ① 子育て支援センター（きぼう）の増築

移管申請書の内容に基づいて、2010 年度からの子育て支援センター事業及び零歳児保育の実施等に備え、園舎をプールの東側に増築（プレハブ構造、169.72 m<sup>2</sup>）しました。

##### ② 空調設備の充実

2 階の保育室 2 室にエアコンを設置して環境の整備を図ったほか、1 階の低年齢保育室に床暖房を設置しました。

##### ③ トイレ環境の整備

1・2 階の園児用トイレ及び職員用トイレの便器交換や、間仕切りを付け替えるなどの改修工事を行いました。

##### ④ 庇テントの張替と下足入れの入替

共愛学園賛助会からの支援を受け、庇テント 2 張り と園児用下足入れを入れ替えました。

##### ⑤ 厨房備品の整備

厨房備品のうち、劣化が著しい食器洗機やその他備品を買い替えました。